

令和3年度 事業実績報告書

自：令和3年 4月1日
至：令和4年3月31日

社会福祉法人

南風原町社会福祉協議会

令和3年度 事業実績報告書

～ 令和3年度 事業実績報告について ～

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、これまで住民が積極的に展開してきた支えあい・たすけあいの活動に大きな影響を及ぼし、地域で実施される多くの事業・活動が休止となりました。また、本会においても職員による訪問活動の自粛をはじめ事業及び各種研修会等の多くが延期・中止となりました。

1. 会務の運営

(1) 理事会の開催

会員とその代表である評議員の負託を受けて、地域福祉推進のための諸事業の推進にあたる執行機関としての理事会を次のとおり開催した。

第1回

日 時 令和3年6月3日（木）午後6時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 理事 9人・監事2人、事務局 7人
議 案 第1号 令和2年度事業実績報告について
第2号 令和2年度決算報告について
第3号 令和3年度資金収支一次補正予算について
第4号 第24期役員（理事・監事）候補者について
第5号 第23期評議員候補者の推薦について
第6号 令和3年度定時評議員会の日時、場所、議案について

第2回

日 時 令和3年6月25日（金）午後2時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 理事9人・監事2人、事務局3人
議 案 第1号 第24期役員（会長、副会長）の選定について

第3回 決議の省略

経 緯 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため第3回理事会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、当該提案について、理事全員から書面による同意の意思表示及び監事全員からの異議がない旨の申し出を得たので、理事会の決議があったものとみなされた。

議案 第1号 令和3年度資金収支二次補正予算について
第2号 第23期評議員候補者の補充推薦について
第3号 第2回評議員会の開催について

理事会の決議があったものとみなされた日 令和4年1月21日（金）

第4回

日 時 令和4年3月17日（木）午後5時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 理事8人・監事2人、事務局7人
議 案 第1号 令和3年度資金収支三次補正予算について
第2号 障害者・高齢者の虐待防止等の推進等に伴う各事業所運営規程の一部改正について
第3号 令和4年度事業計画について
第4号 令和4年度資金収支予算について
第5号 第23期評議員候補者の補充推薦について
第6号 第3回評議員会の日時、場所、議案について

(2) 評議員会の開催

社協の活動方針や事業計画、予算・決算の審議、役員の選任、定款の変更等社協運営の重要な事項を審議するための機関である評議員会を次の通り開催した。

定時(第1回) 決議の省略

経 緯 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定時評議員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、当該提案について、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員会の決議があったものとみなされた。あわせて、当該定時評議員会が終結したものとみなされた。

議 案 第1号 令和2年度事業実績報告について
第2号 令和2年度決算報告について
第3号 令和3年度資金収支一次補正予算について
第4号 第24期役員（理事・監事）の選任について
評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月24日（木）

第2回 決議の省略

経 緯 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため第2回評議員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、当該提案について、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員会の決議があったものとみなされた。

議 案 第1号 令和3年度資金収支二次補正予算について
評議員会の決議があったものとみなされた日 令和4年2月10日（木）

第3回

日 時 令和4年3月29日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 ホール
出 席 評議員31人・会長1人、事務局7人
議 案 第1号 令和3年度資金収支三次補正予算について
第2号 令和4年度事業計画について
第3号 令和4年度資金収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

法人の関係者でない中立的な立場にある外部の者が参加する機関として評議員選任・解任委員会を設置し次のとおり開催した。

第1回

日 時 令和3年6月11日（金）午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 評議員選任・解任委員3人、事務局1人
議 案 第1号 第23期評議員の選任について

第2回 決議の省略

経 緯 : 第2回評議員選任・解任委員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、当該提案について評議員選任・解任委員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員選任・解任委員会の決議があったものとみなされた。

議 案 第1号 第23期評議員の補充選任について
評議員選任・解任委員会の決議があったものとみなされた日 令和4年1月26日（水）

第3回 決議の省略

経 緯 : 第3回評議員選任・解任委員会を招集せず、書面による決議の省略の提案文書を郵送し、当該提案について評議員選任・解任委員全員から書面による同意の意思表示を得たので、評議員選任・解任委員会の決議があったものとみなされた。

議 案 第1号 第23期評議員の補充選任について
評議員選任・解任委員会の決議があったものとみなされた日 令和4年3月22日（火）

(4) 正副会長会の開催

法人の代表である正副会長会を毎月開催し、業務執行状況、予算執行状況の点検をはじめ、理事会、評議員会提案議案の調整、社協運営の課題等の検討を行った。

第1回

日 時 令和3年4月13日（火）午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①3月の行事報告 ②4月の行事調整 ③3月の寄附について
④報告・調整事項について ⑤社協運営の課題について

第2回

日 時 令和3年5月10日（月）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①4月の行事報告 ②5月の行事調整 ③4月の寄附について
④報告・調整事項について ⑤社協運営の課題について

第3回

日 時 令和3年5月25日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①5月の行事報告 ②6月の行事調整 ③5月の寄附について

- ④第1回理事会の議案について ⑤第1回評議員選任・解任委員会の議案について
⑥定時評議員会の議案について ⑦社協運営の課題について

第4回

- 日 時 令和3年7月13日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①6月の行事報告 ②7月の行事調整 ③6月の寄附について
④報告・調整事項について ⑤社協運営の課題について

第5回

- 日 時 令和3年8月10日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①7月の行事報告 ②8月の行事調整 ③7月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤会員会費の状況について
⑥社協運営の課題について

第6回

- 日 時 令和3年9月13日（月）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①8月の行事報告 ②9月の行事調整 ③8月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤会員会費の状況について
⑥社協運営の課題について

第7回

- 日 時 令和3年10月12日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①9月の行事報告 ②10月の行事調整 ③9月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤社協運営の課題について

第8回

- 日 時 令和3年11月9日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①10月の行事報告 ②11月の行事調整 ③10月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤赤い羽根共同募金の状況について
⑥社協運営の課題について

第9回

- 日 時 令和3年12月7日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①11月の行事報告 ②12月の行事調整 ③11月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤赤い羽根共同募金の状況について
⑥社協運営の課題について

第10回

- 日 時 令和4年1月11日（火）午前10時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ①12月の行事報告 ②1月の行事調整 ③12月の寄附・寄贈について
④報告・調整事項について ⑤歳末たすけあい募金の状況について

- ⑥第3回理事会の議案について ⑦第2回評議員選任・解任委員会の議案について
⑧第2回評議員会の議案について ⑨社協運営の課題について

第11回

- 日 時 令和4年2月8日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 1月の行事報告 ② 2月の行事調整
③ 1月の寄附・寄贈について ④ 報告・調整事項について
⑤ 歳末たすけあい激励金配分状況について ⑥ 社協運営の課題について

第12回

- 日 時 令和4年3月8日（火）午後2時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
議 題 ① 2月の行事報告 ② 3月の行事調整 ③ 2月の寄附・寄贈について
④ 報告・調整事項について ⑤ 第4回理事会、第3回評議員会の議案について
⑥ 第3回評議員選任・解任委員会の議案について ⑦ 社協運営の課題について

（5）福祉基金運営委員会の開催（中止）

（6）法人監査の実施

業務執行状況並びに収支決算について関係職員立会いのうえ、2名の監事により中間監査、決算監査を実施した。

第1回

- 日 時 令和3年5月24日（月）午前9時30分～午前11時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
内 容 ①令和2年度事業監査 ②令和2年度会計監査

第2回

- 日 時 令和3年12月21日（火）午前9時30分～午前11時
場 所 ちむぐくる館 会議室3
内 容 ①令和3年度中間事業監査 ②令和3年度中間会計監査

（7）事業総括会議の開催

- 目 的 担当者ごとに事業及び活動を自己評価し、進捗状況等を確認するとともに、事業及び活動の継続・見直しなどを検討する。
日 時 令和3年11月18日（木）午前9時～正午
〃 11月19日（金）午前9時～正午
場 所 ちむぐくる館 会議室3
出 席 職員7人
内 容 ① 各担当による事業評価について ② その他

2. 広報啓発・福祉意識の高揚

(1) 社協だより「ちむぐる」の発行・配布

目 的 社協が実施する事業等に対する理解を深めてもらうことで、事業運営に対し理解と協力を求める。また、広報誌を住民の福祉教育の媒体と位置づけるとともに、定期的に発行することで、新しい福祉情報の提供を図り、福祉への理解を深めてもらうことを目的に発行する。



発 行 毎年12回（第230号（令和3年5月号）～第241号（令和4年4月号）

部 数 毎号14,300部

(2) 社協だより編集委員会

目 的 社協だよりちむぐるの定期的な発行とその内容に様々な視点を取り入れることで、内容の充実を図ることを目的とする。

内 容 ① 社協だよりの校正及び次号内容の検討 ② その他

◇ 第1回：期 日 令和3年4月2日（金）（出席5人）

◇ 第2回：期 日 〃 5月6日（木）（出席5人）

◇ 第3回：期 日 〃 6月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、郵送による校正

◇ 第4回：期 日 〃 7月 〃 〃 郵送による校正

◇ 第5回：期 日 〃 8月 〃 〃 郵送による校正

◇ 第6回：期 日 〃 9月 〃 〃 郵送による校正

◇ 第7回：期 日 〃 10月4日（月）（出席3人）

◇ 第8回：期 日 〃 11月2日（火）（出席3人）

◇ 第9回：期 日 〃 12月1日（水）（出席3人）

◇ 第10回：期 日 令和4年1月5日（水）（出席5人）

◇ 第11回：期 日 〃 2月1日（火）（出席5人）

◇ 第12回：期 日 〃 3月1日（火）（出席4人）

(3) 地域福祉懇談会（中止）

目 的 地域住民を対象に社協事業を紹介するとともに、地域における福祉ニーズの把握と共有を行い、住民の福祉意識の高揚を図る。

内 容 ・社会福祉協議会の事業と活動について ・懇談（地域福祉について）

(4) 社協ホームページ・ブログの運営

目 的 社会福祉協議会情報及び関連情報を町民にいち早く提供し、社会福祉協議会への理解と協力、地域福祉への住民参加を図る。

URL <https://www.haebaru-shakyo.org>

ホームページアクセス件数 18,040 件（月平均 1,503 件）

前年度実績 15,824 件（月平均 1,319 件）

ブログアクセス件数 6,821 件（月平均 568 件）



(5) 第7回南風原町社会福祉大会の開催（延期）

(6) 社会福祉施設長等連絡会の開催（中止）

目 的 地域における福祉課題が多様化・複雑化するなか、社会福祉法人には地域の重要な社会資源として、地域の福祉・生活課題の解消に向けた具体的な取り組みをとおして公益性を改めて担保することが求められています。そこで関係機関相互の連携強化を図り、協働体制づくりに資することを目的に連絡会を開催する。

(7) 自治会への加入促進に関する協定（調印締結式）

目 的 地域における住民の安心・安全な暮らしと住みよい地域づくりの実現のため、地域コミュニティの根幹である自治会への加入促進に関して相互に協力、連携し地域社会の発展に資することを目的に5者が協定する。

協定調印式

日 時：令和3年4月9日（金）午後3時

場 所：町立中央公民館 2階研修室

協定参加団体

本会、南風原町区長会、南風原町、JAおきなわ
（南風原支店、津嘉山支店）、小禄・南部地区宅
地建物取引業者会



3. 福祉教育及びボランティア活動の推進

I. 福祉教育の推進

(1) 福祉教育連絡会の開催

目 的 町内保育園、幼稚園及び小中高校の福祉教育推進校が充実した福祉活動に取り組めるよう情報交換する。

○助成金の申請について ○昨年度の福祉教育実践報告（各校の取り組み）

○実践報告会の日程調整

第1回

日 時：令和3年5月19日（水）午後4時～午後5時15分

場 所：オンライン開催（ZOOM）

内 容：（1）助成金の使途および福祉教育活動の推進について
（2）令和2年度活動報告
（3）令和3年度活動にあたっての情報交換

第2回

日 時：令和4年3月14日（月）午後4時～午後5時

場 所：オンライン開催（ZOOM）

内 容：（1）令和3年度活動報告
（2）令和4年度活動にあたっての情報交換など

(2) 福祉教育・地域福祉活動実践報告会（中止）

目 的： 学校での福祉教育や町内で行われている福祉活動の報告をとおして、住民はじめ関係者の新たな福祉教育・地域福祉活動の発展につなげる。

(3) 福祉教育推進事業助成

目 的： 町内認可保育園 14 園、幼稚園 4 校、小学校 4 校、中学校 2 校、高校 2 校に福祉教育推進事業助成金を交付し福祉教育推進に寄与する。

助成対象校： 町内各保育所（園）、幼・小・中高校 26 校（助成額：合計 490,000 円）

13 園×10,000 円 1 園 1 校×30,000 円 6 校×50,000 円

(4) 町内学校教諭等福祉研修会の開催

目 的： 児童・生徒の福祉理解を進める担い手としての教諭等が、学校や地域での福祉教育の必要性を再確認し、もって本町における福祉教育の推進に寄与することを目的に開催する。

日 時： 令和 3 年 8 月 18 日（水） 9：30～12：00

場 所： オンライン（ZOOM）

内 容： 「届けたい教育を叶える～学校と家庭の連携と関わり方～」

講 師： 仲間 知穂 氏（こども相談支援センターゆいまわる）

(5) 総合的学習の時間・出前講座への対応

目 的： 小中高校が総合的な学習の時間に「思いやりの心」「助け合う心」を育て「自分にできることを探す」といった福祉学習に取り組む中で、地域人材や地域資源を活かし福祉教育推進に寄与する。



津嘉山小学校 R3/4/27

実 績 3 件

①令和 3 年 4 月 27 日（火）津嘉山小学校 4 年生 対応職員 3 人
「福祉ってなに」「ユニバーサルデザインについて」

②令和 3 年 5 月 11 日（火）南風原小学校 4 年生 対応職員 3 人
「福祉ってなに」「ユニバーサルデザインについて」

③令和 4 年 1 月 12 日（水）北丘小学校 4 年生 対応職員 3 人
「福祉ってなに」「ユニバーサルデザインについて」

(6) 第 1 回福祉作文コンクール

目 的

児童・生徒を対象に身近な福祉体験・ボランティア体験をとおして感じたことを作文に表すことで思いやり・たすけあいの心について考える機会づくりに資するとともに、福祉意識の醸成と更なる高揚を図ることを目的に実施。

選考委員 8 人（理事、学識経験者、主任児童委員、指導主事）

選考委員会 2回：令和3年10月14日(木)、令和4年2月9日(水)

実績 応募総数29作品

(小4：21作品、小5：3作品、小6：3作品、中1：2作品)

○表彰式 令和4年3月5日(土) 午後2時～3時

ちむぐくる館 ホール (ZOOM 配信)

参加者 主賓3人、選考委員2人、学校長4人、

最優秀者4人

作文集 200冊発行



Ⅱ. ボランティア養成研修の充実

(1) 10代のボランティア研修会の開催(調整後、最終的に中止の判断)

目的：地域や学校を単位としたボランティア活動に取り組んでいる生徒や、これから行おうとしている生徒を対象に、福祉体験活動をとおして人と人との絆の大切さを肌で感じ、自分たちにできることを探求し、ボランティア精神を培うことで共に生きる福祉のまちづくりが推進されることを期して実施する。

日時 令和3年7月30日(金) 31日(土)、8月2日(月)、8月18日(水)

場所 中央公民館 他

講師 琉球アガチ 他

参加者 開邦高校5名、小禄高校4名

内容 講話・ワークショップ、手話・ブラインドサッカー体験、活動報告書作成・報告会

(2) 音訳ボランティア養成講座の開催(中止)

目的：障がい者福祉の理解を深めるとともに、視覚障がい者へ関係情報及び資料提供するなどの音訳ボランティアを養成することを目的に開催する。

(3) 手話ボランティア養成講座の開催

目的：手話を学ぶことにより聴覚障がい者とのコミュニケーション及び障がい者福祉への理解を深め、手話ボランティア活動の振興を図ることを目的とする。

日時 令和4年2月24日(木)～3月24日(木) 5回講座

毎週金曜日 午後6時半～8時

場所 ちむぐくる館 ホール

講師 中村成将氏、與那嶺恵美子氏

参加者 受講者10人、修了証授与者9人

内容 手話入門(手話基礎知識、あいさつ、簡単なコミュニケーション等)

(4) ボランティア入門講座の開催

目的：しまくとうばを学ぶことにより地域の方々とのコミュニケーションやしまくとうばへの理解を深め、傾聴ボランティア活動などに繋げることを目的とする。

日時 令和4年3月4日(金)～3月22日(火) 4回講座

午前10時～12時

場 所 ちむぐる館 ホール
 講 師 南風原町文化協会 しまくとうば部会
 参加者 受講者 10 人、修了証授与者 6 人
 内 容 しまくとうば入門（基礎知識、あいさつ、簡単なコミュニケーション等）

Ⅲ. ボランティアセンター基盤整備

(1) ボランティア（団体）の登録・斡旋

目 的： ボランティア登録を行い、迅速かつ効果的に地域支援活動等に活かすことを目的に行う。

登録個人・団体	人数	団体
個 人 登 録	1 4	
V r 活動が主目的の団体	8 1 5	2 9
V r 活動が主目的ではない団体	1 3 3	8
合 計	9 6 2	3 7

i) ボランティアの斡旋・活動支援

「学生傾聴ボランティア」

目 的：近年高齢者等の孤立が問題視される中で、これらの方々に傾聴ボランティアを実施することにより、孤立感や不安感を軽減させ、もって高齢者等の福祉の増進を図ること及び、福祉の仕事を目指す学生が高齢者とふれあうことで得られる気づきや学びの習得を目的に開催する

実施内容 事前オリエンテーション、世帯とのマッチング、オンライン・訪問活動

参加者 3 名（大学生）3 名（一般町民）

実施日 オリエンテーション 令和3年12月15日（水）、24日（金）

オンライン・訪問活動 令和4年2月9日（水）～ 計12回

ii) 町商工会青年部との地域貢献活動に関する協定締結

目 的 町商工会青年部に所属する企業の地域貢献活動を支援するとともに、活動をとおりして社会福祉への理解を深めてもらい、協働による福祉のまちづくりの更なる推進に資することを目的に実施する。

【締結式】

日 時：令和3年6月10日（木） 午後2時～

場 所：ちむぐる館 ホール

参 加：社協会長 青年部正副部長（3名）



(2) 日本テレビ主催「24時間テレビ'42 愛は地球を救う」チャリティ募金への協力（中止）

(3) ボランティアセンター運営委員会の開催

目 的： 南風原町ボランティアセンターの基本的運営に関すること、事業計画及び企画・予算に関すること、ボランティアの開発・育成・プログラムに関することなどを執り行い、南風原町ボランティアセンターの適正な運営と強化を図るため運営委員会をおく。

第1回

日 時：令和3年10月25日（月）午後2時～午後3時

場 所：ちむぐくる館 会議室3

内 容：（1）委嘱状の交付

（2）正副委員長の互選について

（3）令和元年度・令和2年度の振り返り

（4）令和3年度の計画について

（5）コロナ状況下でのボランティア活動について

第2回

日 時：令和4年3月9日（水）午後2時～午後3時30分

場 所：ちむぐくる館 会議室3

内 容：（1）令和3年度の振り返り （2）令和4年度の計画について

（4）ボランティアプラットホームの開催（中止）

（5）ボランティア団体連絡会及び新春さわやかもちつき大会実行委員会の開催（中止）

（6）第31回 新春さわやかもちつき大会の開催（中止）

（7）民間福祉資金の活用・紹介

目 的：民間福祉資金の活用をととして社協の自主財源の確保とボランティア団体や福祉団体に公益資金を紹介することで、会活動の活性化を側面から支援する。

りゅうぎんユイマール助成金（上期）

No.	申 請 団 体 名	決 定 内 容
1	山川あみの会	オープンレンジ 1台
2	町老人クラブ連合会	ノルディックウォーキングポール 12セット

りゅうぎんユイマール助成金（下期）

No.	申 請 団 体 名	決 定 内 容
1	津嘉山ティガネーの会	プロジェクター 1台



山川あみの会（オープンレンジ）



町老人クラブ連合会（ノルディックポール）

(8) ボランティア保険の加入促進

目 的 ボランティアが安心して活動できるように加入促進を図る。

①ボランティア活動保険 793人

(主な加入団体：小地域福祉ネットワーク、ボランティア団体、個人等)

②ボランティア行事用保険 23件(7,525人)

(主な加入内容：社協の行事、小地域福祉ネットワークの行事、V r 団体行事等)

③福祉サービス総合補償(社協及び社協会員の事業所・法人等)

- ・ファミリーサポートセンター事業 1件(664人)
- ・まちづくりサポート事業 1件(240人)
- ・意思疎通支援事業(手話通訳・要約筆記) 1件(115人)
- ・養育支援事業 1件(85人)
- ・新川自治会ちゅういたしきだしき事業 1件(33人)
- ・宿直有償ボランティア活動 1件(365人)

④送迎サービス補償 5件(2,916人)

⑤保険事故の対応 0件

4. 福祉総合相談事業の実施

(1) 相談活動

目 的：町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに、法律相談、司法書士相談を実施し、専門的な支援を行う。

① ふれあい福祉相談室の設置

i) 相談日 ◇ 一般相談(月～金) 相談員2人

◇ 専門相談

・法律相談(月3回)：弁護士 ・司法書士相談(月1回)：司法書士

ii) 相談件数 3,191件

(一般 3,068件、法律 102件、司法書士 21件)

<一般相談内容別内訳> 延べ5,490件(1件に対して複数相談有)

内 容	件 数	内 容	件 数
生 計	2,764	結婚・離婚	65
職業・生業	749	精神衛生	191
家 族	320	人権・法律	101
住 宅	438	財 産	74
老人福祉(高齢者)	20	苦 情	2
母子・父子福祉問題	7	情緒問題	167
心身障害者(児)福祉	31	障害差別及び合理的配慮	2
児童福祉・母子保健福祉	68	DV・虐待	31
教育・青少年	61	その他	69
医療・健康	310	合 計	5,490
年 金	20		

② 会議・研修会等への参加

〈会議〉 (1) 登校支援会議 ⇒ 参加なし

(2) 要保護児童等対策地域協議会代表会議 ⇒ 参加なし

〈研修等〉

(1) 生活福祉資金貸付事業 担当職員研修(オンライン) (令和3年7月20日)

(2) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について (令和3年7月20日)

③ 移動相談所での相談対応 ⇒ 2回

5. 低所得者福祉に関する事業

(1) 助け合い金庫貸付事業

目 的：町内に居住する緊急要保護世帯に対し、生活資金等の貸付を行うことにより生活の更生を図る。

- ・申請件数 1件 ・貸付件数 1件 (金額 20,000円)
- ・年度末貸付件数 49件 (金額 2,257,000円) ・滞納件数 48件
- ・年間償還額 92,000円 ・原資額 5,165,730円

(2) 生活福祉資金貸付事業

目 的：資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長 促進、並びに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活ができるようにする。

①相談・対応件数：1,831件 (内、新型コロナに関する相談：1,249件)

②申請件数：5件 (貸付件数：5件)

③貸付決定金額： 3,707,000円

□福祉資金(1件) 1,899,000円

□緊急小口資金(3件) 300,000円

□教育支援資金(1件) 1,508,000円

④新型コロナ特例貸付(新型コロナによる収入減)：(852件)

365,840,000円

□緊急小口資金－特例貸付(276件) 54,350,000円

□総合支援資金－特例貸付(238件) 127,500,000円

□総合支援資金(延長) (123件) 67,180,000円

□再貸付－特例貸付 (215件) 116,810,000円

職業別内訳

職 業	件 数	職 業	件 数
建築業	148	娯楽業	6
飲食業	143	IT関連	5
失 業	87	文化関連	5
交通関連	86	清掃業	4
観光業	33	インストラクター	2
美容関連	32	その他	287
農業関連	14	合 計	852

(3) 社会的孤立対策事業

①助成金の交付

- 1) 子ども居場所づくり (申請なし)

②緊急一時支援金の給付 ・給付件数：0件 (給付金額：0円)

③フードドライブ運動の実施 (随時募集)

- 1) 物品寄贈 (受入)： 4, 449品

【寄贈物品内訳】

- | | | | |
|----------|------|------------|---------|
| ・お米/麺類： | 694品 | ・缶詰/レトルト： | 1, 631個 |
| ・調味料： | 209個 | ・お菓子/ドリンク： | 972個 |
| ・その他/野菜： | 943品 | | |

- 2) イオン南風原店フードドライブ 162品

カーブスマックスバリュー日橋フードドライブ 段ボール14箱

(株)丸大南風原店フードドライブ (随時)

南風原町職員労働組合フードドライブ 307品

南星中学校ボランティア委員会フードドライブ



(株式会社 丸大南風原店)



(南星中学校ボランティア委員会)

④子ども食堂の開催 (毎週水曜日開催 午後5時～7時30分)

- ・開催数：46回 延利用者数：2, 509人 延ボランティア者数：120人
- 協力事業所：咲レストラン、レストランていーら
- 新型コロナ感染拡大防止のためのテイクアウトにて実施
- ・「沖縄セルラー子ども基金」より300, 000円寄附を受ける
- ・イオン琉球(株)「幸せの黄色いレシートキャンペーン」への応募
- イオンギフトカード：277, 500円寄贈を受ける



子ども食堂 (コロナ禍のため、お弁当に詰めてテイクアウトにて実施)

⑤コロナ感染世帯等への緊急一時支援

1) 食料支援 85件(292人分)

2) 買い物支援 5件



(5日分の食料「寄贈を受けた食料品など」を用意する様子)

(寄贈を受けた食料品)

(4) 低所得世帯等に対するその他の支援

①お米券・商品券の提供：0件

②食料品提供 890件 —フードバンク(236件)、社協(654件)

③その他(物品等提供) —生理用品、消毒液、シャンプー、おむつ 等

6. 老人福祉に関する事業

(1) 老人福祉月間の広報活動

目 的 老人福祉について関心を高めてもらうことを目的に啓発活動として行う。

標語「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」

・ポスターの掲示 100枚(20行政区、役場、社協等) ・横断幕の設置 4ヶ所

(2) 在宅介護支援センター運営事業の実施

目 的 町内の65歳以上の高齢者が地域で安心して暮らしていけるよう、保健・福祉・介護の相談に対し総合的に支援を行う。また、ニーズに即した支援や相談に応じるため関係機関との連絡調整を行い、高齢者やその家族の福祉の向上を図る。

①相談および支援業務

・相談延件数 1,456件 ・訪問件数 635件 (実態把握件数：109件)

※ 65歳以上世帯名簿から、単身高齢者世帯と高齢者のみ世帯を優先に訪問し、本人の状況確認や実態把握調査を行う。支援が必要な方を早期に把握し、介護サービスや福祉サービス等必要な支援につなげ、又、見守り支援及び地域活動への参加を促し生活の安定化を図る

②地域ケア会議への参加(役場保健福祉課、地域包括支援センター、社協)

③基本台帳の整備

④保健・福祉・医療情報の収集・啓発

※コロナワクチン接種予約支援

※コロナワクチン接種タクシーチケット支援

※包括・在介・生活支援コーディネーターパネル展 令和4年1月24日～2月8日

⑤研修・会議等への参加

1. 県地域包括・在介協 第1回調査・研修委員会(オンライン)

日 時：令和3年6月16日(水)

参加者：1人

2. 第1回県地域包括・在介協研修会【初任者研修】(オンライン)
日 時：令和3年8月25日(水)
内 容：「地域包括・在宅介護支援センターの基礎的な役割や基本的な知識を学ぶ」
講義、グループワーク
参加者：2人
3. 第30回(令和3年度)全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会
日 時：令和3年10月13日(水)、他 (オンライン)
内 容：「新型コロナ禍における高齢者の実態と介護予防支援のこれから」
シンポジウム、実践事例発表 参加者：3人
4. 県地域包括・在介協 第2回調査・研修委員会(オンライン)
日 時：令和3年10月18日(火) 参加者：1人
5. 九州ブロック地域包括・在介協セミナー(動画配信)
日 時：令和3年11月15日(月)～21日(日)
内 容：「これからの地域包括・在宅介護支援センターの在り方」基調報告
「人づくりと地域づくり～ゆいまーるを目指して～」講演
参加者：3人
6. 県地域包括・在介協 地区別連絡会(那覇・南部地区)(オンライン)
日 時：令和3年12月14日(火) 参加者：3人
7. 県地域包括・在介協 第3回調査・研修委員会(オンライン)
日 時：令和4年3月16日(水) 参加者：1人
8. THANKS(サンクス)運動 幹事会(オンライン)
日 時：令和4年3月25日(金) 参加者：1人

(3) 友愛訪問活動推進事業の実施

目 的 定期的な見守りが必要な世帯を対象に福祉協力員等が友愛訪問し、安否の確認を行いながら、あわせて孤独感の解消を図る。

毎週1回 火曜日

実利用者 30人(令和4年3月末：20人)

実施日数 50日(内1月4日おせち弁当・歳末たすけあい)

延べ訪問回数(配食数) 938回(食)

訪問ボランティア 29人(民生委員・児童委員17人、福祉協力員12人)

(4) 高齢者健康づくり推進事業の実施

目 的 ちむぐくる館の健康器具等を活用し、高齢者の健康・生きがいの推進を図る。また積極的な参加を図るため、町内を巡回する福祉バスの運行を実施。

- ・実施：毎週月・水・金
- ・内容：①健康づくり推進員の配置 ②巡回福祉バスの運行
- ・実施日数：１０８日
- ・延べ利用者数 ３６４人
- ・１日平均 ３．４人

【各字延べ利用状況】

字 名	人 数	字 名	人 数	字 名	人 数
与那覇	８	北丘ハイツ	４６	神 里	３５
宮 城	２８	兼 城	１９	兼本ハイツ	１２
大 名	３１	本 部	３	第一団地	４２
新 川	１８	喜屋武	０	第二団地	１７
東新川	０	照 屋	０	宮平ハイツ	０
宮 平	０	津嘉山	７６	兼平団地	０
慶 原	０	山 川	２９	合 計	３６４

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため５月２４日～９月３０日まで休止

〃

令和４年１月１７日～２月２８日まで休止

（５）介護予防等事業の実施

① 一般高齢介護予防通所事業（地域型）の実施（１８ヶ所）

目 的：地域公民館を拠点にして健康チェック、レクリエーション・趣味活動を提供し、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進し、社会的孤立感の解消及び自立の支援を図る。

i) 実 績

地 域 名		実施日数	延利用者数	平均参加者	実登録者数
1	与那覇	4	21	5.25	20
2	宮 城	4	44	11.0	28
3	大 名	10	96	9.6	20
4	新 川	8	65	8.25	28
5	宮 平	3	66	22.0	40
6	北丘ハイツ	6	47	7.83	16
7	兼 城	8	72	9	26
8	本 部	5	49	9.8	21
9	喜屋武	11	192	17.4	41
10	照 屋	10	108	10.8	14
11	津嘉山	10	251	25.1	62
12	山 川	5	61	12.2	22
13	神 里	4	54	13.5	34
14	兼本ハイツ	5	23	4.6	21
15	第一団地	7	73	10.4	17
16	第二団地	4	39	9.75	15
17	東新川	0	0	0	0
18	兼 平	5	24	4.8	7
19	中央型ミニデイ	23	201	8.73	11
合 計		132	1,486	11.26	445

- ii) 新型コロナウイルス感染症拡大防止により事業中止（令和3年5月6日～9月31日）
 //

（令和4年1月31日～2月20日）

iii) 事業担当職員調整会議等の開催

- ・調整会議 令和3年 4月28日（水）参加：（中止）
- 〃 5月14日（金）参加：7人、役場4人
- 〃 6月22日（火）参加：（中止）
- 〃 7月27日（火）参加：6人、役場5人
- 〃 8月25日（水）参加：（中止）
- 〃 9月9日（木）参加：4人、役場5人
- 〃 9月29日（水）参加：6人、役場4人
- 〃 10月26日（火）参加：6人、役場6人
- 〃 11月24日（水）参加：7人、役場4人
- 〃 12月22日（水）参加：7人、役場2人
- 令和4年 1月26日（水）参加：（中止）
- 〃 2月22日（火）参加：7人、役場4人
- 〃 3月23日（水）参加：7人、役場3人

・内 容 現場の情報共有、実施日の調整及び課題点、対応策の検討等

・構 成 社協担当職員・レク指導員・看護師、役場高齢・保健福祉課担当職員

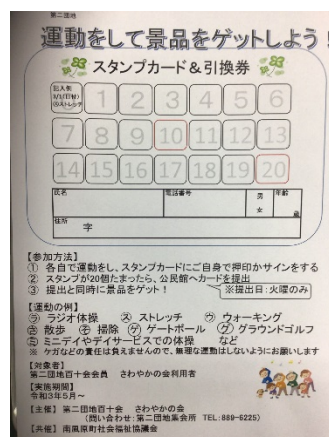
iv) 第17回 利用者交流会の開催（中止）

v) いきいき体操カードの実施（利用者交流会代替事業）

目 的：コロナ禍においてミニデイサービスが行えない期間、利用者が自宅において体操を行い、カードにシールを貼りながら健康づくりに寄与する。

期 間：令和3年10月1日～10月31日

対象人数：利用者412名



（シールがいっぱいになり、景品をゲット）

② 軽度生活援助事業の実施

目 的 介護保険サービスの給付に該当しない高齢者で、居宅における家事援助等サービスを必要とする方に対し、ホームヘルパーを派遣して日常生活の援助を行う。

派遣世帯 7世帯（令和4年3月末現在利用者数 4世帯）

派遣実績 469時間 派遣回数 369回

③ ふれあいコールサービス事業の実施

目 的 ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯宅へ定期的に電話をかけることにより、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを提供すると共に、緊急事態発生時の迅速な対応等で日常の安全を図る。

毎週3回 月・水・金曜日

実利用者数 19人（令和4年3月末現在利用者数 17世帯）

コール数 1,616回

④ 家族介護者支援事業の実施

I. 家族介護者交流事業

目 的 在宅で家族を介護されている方々が、交流や情報交換及びレクリエーションなどをおして日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュしていただくことを支援する。

i) ピクニック

期 日 令和3年10月26日（火）午前9時～午後3時30分

場 所 うるま市

参加者 11人

内 容 ぬちまーす観光製塩ファクトリー～浜比嘉島～うるマルシェ

ii) 家族介護者交流会（糸満あだんの会との交流会） ⇒ 中止

iii) 家族介護者宿泊研修会 ⇒ 中止

iv) 新年会 ⇒ 中止

v) 健康づくり教室

期 日 令和4年3月16日（水）午前10時30分～午後0時30分

参加者 7人

内 容 パークゴルフ～お弁当会

II. 家族介護教室

目 的：在宅で家族を介護している方等が、介護の方法や保健・福祉制度及び介護者自身の健康づくりについて学ぶことで、介護の精神的・身体的負担の軽減を図る。

第1回

期 日 令和3年7月27日（火）午後1時30分～3時30分

場 所 ちむぐくる館 ホール

内 容 「コロナ禍における認知症予防とフレイル」

～高齢者が心身の健康を維持できるように～

講 師 金城寿氏（県立南部医療センター 認知症看護認定看護師） 参加者 23人

第2回

期 日 令和3年12月21日（火）午後1時30分～3時30分

場 所 ちむぐくる館 ホール

内 容 「自宅内でできる感染予防対策」～感染症の正しい知識と予防～

講 師 外間武氏（南部徳洲会病院 感染管理特定認定看護師） 参加者 15人

第3回

期 日 令和4年2月1日（火）午後1時30分～3時30分
 場 所 ちむぐくる館 ホール
 内 容 「認知症予防の食事づくりのコツ」～実はポイントが…いっぱいあるんですよ！～
 講 師 具志堅志保 氏（南風原町 管理栄養士） 参加者：24人

⑤ 高齢者外出支援サービス事業の実施

- 目 的 i) 公共交通機関を利用することが困難な高齢者に対し、リフト付車両を使って医療機関への送迎。
 ii) 高齢者サロン・ミニデイ活動等の参加者で、自分で通うことが困難な方の送迎。
- 1) 一医療機関等送迎支援
 ・利用実人数：18人（利用登録数：20人）
 ・延人数：138人 ・延件数：250件
- 2) 一サロン・ミニデイ送迎支援
 ・利用延人数：284人（利用登録41人） ・稼働日数：56日 ・延件数：526件

⑥ 生活支援体制整備事業の実施

目 的 生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活ニーズの把握とニーズのと社会資源のマッチングをとおして関係機関等のネットワーク構築をはじめ生活支援体制づくりを目的に実施する。

実 績

- i) 生活支援コーディネーター配置：2人
 ii) 活動実績

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	104
	地域への働きかけ	39
	関係機関への働きかけ	11
	生活支援の担い手・サービス開発	13
	計	167
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	94
	サービス提供主体間の連携体制づくり	27
	計	121
ニーズと取組みのマッチング	ニーズとサービスのマッチング	39
	社会資源の情報提供	32
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	9
	計	80
その他	協議体に関すること	8
	ニーズ把握	42
	その他	71
	計	121
合 計		489

iii) 第1層協議体への参加・協力

日 時：令和3年12月17日（金）10：00～12：00

場 所：ちむぐくる館

内 容：①南風原町の高齢者の状況と生活支援体制整備事業について

②意見交換～コロナ禍でどのように変わったのか？～

参加者：22名

地域包括支援センター、社協（生活支援コーディネーター、CSW）、民生委員、小地域福祉ネットワーク代表、介護保険事業者、自治会代表、コープ、商工会、新聞販売店 他

iv) 支えあいサポーター（担い手）養成講座（未実施）

v) 見守り協力隊活動（連絡会の開催含む）

（連絡会の開催）

日 時：令和3年12月22日（水）14：00～16：00

場 所：ちむぐくる館

内 容：説明①コロナ禍における高齢者の現状

②事業実施をととした見守り活動の状況について

意見交換「地域を回っていて感じる事、気になる事について」

「今後の地域での見守り活動について」

参加人数：11名 町内新聞販売店 郵便局 南部水道 コープ ヤクルト

（連携活動）

参加企業からの情報提供と見守り活動の展開：3件

※企業職員が訪問した際に「気になる」世帯として把握、本会に情報提供する

vi) 傾聴ボランティアの活動支援（再掲）

ボランティア活動実施回数：12回

参加人数：ボランティア受け入れ高齢者数・・・実人数3人

ボランティア活動者数・・・実人数6人、延21人（内訳：一般3人、大学生3人）

vii) その他の活動

①地域ミニデイサービスへの参加（ニーズ把握）

②体操スタンプカードの取り組み

③福祉教育（福祉出前講座、10代ボランティア、教員研修の企画・実施）の実践

④地域懇談会の実施と自治会活性化に向けたアンケート調査の実施

⑤社会福祉法人等との連携（専門職ネットワークはえるん会議）

⑥住民への福祉教育実践（福祉協力員連絡会への参加）

⑦ケアプラン検討会への参加

7. 児童福祉に関する事業

(1) 児童福祉月間の広報活動

目 的 児童福祉について関心を高めてもらうことを目的に啓発活動として行う。

テーマ 「やさしさに つつまれそだつ やさしいところ」

ポスターの掲示 200枚(19行政区、役場、社協、保育園、幼稚園、小学校)

横断幕の設置 4ヶ所

(2) こいのぼり掲揚式の開催(中止)

目 的 「児童福祉月間」を目前に子ども達とこいのぼりを掲揚することによって子ども達の夢を育み、健やかな成長と健康づくりについて認識を高めることを目的に開催する。

(3) 子育てサロンの実施

目 的 子育て中の親子同士身近な地域で気軽に交流し情報交換ができる場づくりとして定期的に開催し地域の中で育児に関する情報を共有し共に支えあう地域づくりについて支援する。

実施地区 公民館・集会所等を拠点とした活動……1か所(ちむぐくる館のみ)

開催地域	開催日	実施回数	延組数	延人数
ちむぐくる館	不定期 (週2回程度)	47	286	577
合 計		47	286	577

※緊急事態宣言発出のため中止・・・5月23日～9月30日まで休止

※感染予防対策のため中止・・・・・・1月17日～2月28日まで休止

※プチ講習会(ちむぐくる館):計3回

・8月30日(月)13:30～14:30

ベビータッチケア講座(リモートのみ)

講師:饒平名 美貴氏(参加者10人:大人5人、子ども5人)

・10月25日(月)10:30～11:30

ヤクルト 健腸教室～健康の要“腸”～

講師:前原 愛氏(沖縄ヤクルト株式会社)、スタッフ4人
(参加者14人:大人7人、子ども7人)

・3月14日(月)10:00～12:00

寝かしつけ講座

講師:東江 愛美氏(参加者10人:大人5人、子ども5人)

(4) 子育て講演会

目 的:子育て親や家族の不安や悩みを解消し、身近な地域の中で楽しく子育てができるよう、また、関係機関の連携をより一層強化することを目的とする。

第1回

日 時 令和3年5月11日(火) 午前10時～正午(一般の部)

〃 午後1時30分～4時(障がい児の部)

場 所 ちむぐくる館 ホール

演 題 「乳幼児から始める性の健康教育」

講 師 徳永桂子氏（神戸大学大学院卒（発達支援論講座）思春期保健相談士

参加者 （一般の部）30名（ホール20名、リモート10名）

（障がい児の部）22名（ホール11名、リモート11名）

第2回

日 時 令和3年12月25日（土）午前10時～正午

場 所 南風原小学校 体育館

演 題 「親子ふれあい体操」

講 師 前橋明氏（早稲田大学人間科学学術院教授）他13人

参加者 19組（51人）



（5）子育てサロンサポーター連絡会の開催

目 的： 日頃地域において実施している子育てサロンのサポーターらが、活動報告及び情報交換を行うことにより、サロン活動の活性につなげる。また、合同のイベント等の調整等を行う。

第1回

日 時 令和4年2月28日（月）午後2時

場 所 ちむぐくる館 会議室3

参加者 サポーター3人、職員2人

内 容 ・令和3年度子育てサロン実績 ・サロンの活動状況について
・今後の開催について ・その他

（6）ファミリーサポートセンター運営事業の実施

目 的： 会員相互による扶助活動をととして子育て家庭に対する支援を行うことを目的に実施する。

実 績 職員の配置：アドバイザー 2人（常勤1人・パート1人）

①子育てサポーター養成講座の開催

第1回

期 間：令和4年1月18日（火）、21日（金）、2月15日（火）、2月18日（金）、
22日（火）、24日（木）（6日間）

場 所：ちむぐくる館・ホール、中央公民館・研修室

受講者：15人（補講者2名含む）（終了13人）（託児室利用）1世帯（2名）

②スキルアップ講座及び会員交流会

目 的 ファミリーサポートセンターの活動に参加するサポーター会員としての必要な知識を身につけると共に地域の力との交流を深め、今後の活動と児童福祉の向上に資することを目的に開催する。

日 時 令和3年10月25日（月）午後2時～3時30分

場 所 ちむぐくる館 母子室

内 容 i）テーマ「みんなで作ろう！いろいろ折り紙」 ii）事故防止のための簡易KYT

参加者 （ファミサポ会員）3名、（一般）1名

③広報啓発活動

- i) 社協だよりちむぐくる、社協ホームページの活用、チラシやポスターの配布
- ii) ファミサポだよりの発行（2月）全会員
- iii) 広報誌ファミラブ（県ファミサポ連絡会発行）発送（5月）サポート会員のみ
会員登録

・おねがい会員：361人 ・サポート会員：104人
 ・どっちも会員：64人 合 計：529人

④サポート活動のあっせん

- i) あっせん：407件（実績：222件 キャンセル：185件）
- ii) 主な活動内容

内 容	回 数
1. 保育所・幼稚園の登園前の送り	18回
2. 保育所・幼稚園の迎え	27回
3. 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	19回
4. 子供の習い事等の場合の援助	86回
5. 保育所・学校等休み時の援助	3回
6. 保護者等の外出の場合の援助	22回
7. 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後預かり	86回
8. 保護者の病気、その他急用の場合の援助	8回
9. 保護者等の短時間・臨時的就労の場合	10回
10. 保護者等の求職活動中の援助	0回
11. 保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子の学校行事の場合の援助	2回
12. その他（登校支援等）	126回
合 計	407回

（7）養育支援訪問事業

目 的：妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要な家庭に対し、サポート会員が居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、適切な養育の実施を確保する。

実利用世帯数：5世帯 派遣実績 164.5時間 派遣回数 87回

8. 障害者（児）福祉に関する事業

（1）居宅介護等事業（障害福祉サービス）

目 的 障がいのある方へホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助・同行援護のサービスを提供することで、利用者が居宅においてその能力に応じ可能な限り自立した生活が営めるよう支援する。

ア. 居宅介護事業の実施

実利用者数 16人（令和4年3月末現在利用者数：12人）

派遣実績（時間数）

①身体介護 283時間 ②家事援助 1300.25時間 ③通院介助 81.5時間

合計 1664.75時間

イ. 同行援護事業の実施

実利用者数 4人（令和4年3月末現在利用者数4人）

派遣実績（時間数） 824時間

（2）障がい者スポレク交流事業の開催（中止）

目 的 スポーツ・レクリエーションによる交流をとおして、障がいのある方の健康維持・機能の向上と社会参加促進を図るとともに、参加者（健常者）が「障がい」について理解を深めることで共生による福祉のまちづくりに寄与することを目的に実施する。

（3）県身体障害者スポーツ大会への協力

内 容 町選手・応援団の引率

○卓球、水泳、フライングディスク、陸上競技は中止

○STT競技会への協力 11月13日（土）豊見城市民体育館 選手2名

（4）地域生活支援事業の実施（町受託事業）

① 福祉機器リサイクル事業の実施

目 的 町民及び企業篤志家より福祉機器の寄贈を受け、必要とする在宅の障害者や高齢者に貸し出しを行い、日常生活の利便性を高め、本人・家族の福祉向上を図る。

【福祉機器貸出等状況】

1) 機器貸出：132件（個人：130件・団体：2件）

【機器別内訳】

車いす：60 介護ベッド：12 シャワーチェア：20 歩行器：20

杖（4点杖含む）：9 ポータブルトイレ：10 手押し歩行車：1

2) 物品寄贈受入れ：寄贈：10件

【内容】 車いす：2 ポータブルトイレ：3 介護ベッド：1 歩行器：1 松葉杖：3

② 声の広報等発行事業の実施

目 的 文字による情報入手が困難な障がいのある方へ社協だより、町広報誌、町議会だよりを音訳・録音し希望者へ定期的に提供する。

内 容 社協だより、町広報誌、町議会だよりをCDに音訳し提供する

活動者 延184人（音訳サークルたんぽぽ）

利用者 延258人（令和4年3月末17人）

音訳サークルたんぽぽ定例会 毎月1回

（ただし、緊急事態宣言中及びまん延防止期間は自粛）

③ 音訳学習会の実施（中止）

目 的 音訳会員が日頃の活動の中から感じる疑問やまた音訳の際の問題 点を確認し、共通理解を図りながら資質の向上を目的に学習会を開催する。

(5) 障がいへの理解を深める啓発活動

目 的 住民の「障がい」に関する理解を深める取り組みをとおして、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指して広報啓発活動の充実を図ることを目的に実施する。

①世界自閉症啓発デーに関する取り組み

- ・横断幕設置：2カ所（ちむぐくる館・役場広場）
- ・パンフレット、リーフレットの配布（ちむぐくる館内）
- ・広報紙（社協だよりちむぐくる 記事掲載）



②障害者週間に関する取り組み

趣 旨 「障害者週間」の趣旨目的に則り、以下のイベントを実施

主 催 南風原町役場、南風原町社会福祉協議会

実施期間 令和3年12月3日（金）～12月9日（木）

イベント内容

- (1) はえるん か・ボッチャグランプリ競技（競技期間・・・11月中旬～下旬）
町内福祉サービス事業所が各々「か・ボッチャ」を実施し、上位チームを事務局で表彰
- (2) 啓発展示、資料設置
 - ・障がい者理解を促進するためのパネル等を展示（本年は障がい者スポーツを主眼とする）
 - ・展示場所：町内銀行3行、役場町民ホール、ちむぐくる館
- (3) ブラインドサッカー体験会（12月12日）
- (4) 広報活動等
 - ・「広報はえばる」「社協だより」への記事掲載
 - ・南風原町公式動画チャンネルに上記イベント関連動画を投稿
 - ・新聞社へのプレスリリース
- (5) 横断幕、のぼりの設置



YouTube 障害者週間イベント動画



ブラインドサッカー体験会（R3/12/12）

(6) 障がい者相談支援事業の実施（町受託事業）

目 的

南風原町在住の障がい者及び障がい児、障がい児の保護者又は介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行なうことにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する。

①コミュニティソーシャルワーカー（相談支援員）3人の配置

②相談等実績

i) 相談延べ件数

訪 問	来 所	電 話	その他	合 計
684	144	1,983	379	3,190

ii) 相談者内訳

	計
障害者	2,996
身体	221
重度心身	0
知的	256
精神	2,324
発達	88
高次脳機能	82
難病	12
その他	13
障害児	194
身体	4
重度心身	9
知的	1
精神	9
発達	80
難病(児)	19
その他	1
計	3,190

iii) 相談支援実人数：205人

【内訳】：障がい者 181人 障がい児 24人

iv) 相談支援内容

	件数
1 介護に関する事	34
2 家計・経済・税金に関する事	257
3 金銭管理に関する事	81
4 年金に関する事	74
5 法律・福祉制度・サービスに関する事	468
6 職業(就労)・生業に関する事	171
7 住宅に関する事	279
8 家族関係・人間関係に関する事	110
9 結婚・離婚に関する事	37
10 家庭内暴力(虐待・DV)に関する事	10
11 保育教育・学校生活に関する事	38
12 医療・健康・衛生に関する事	480
13 病状(障がい)の理解に関する事	33
14 アルコールに関する事	46
15 不安の解消・情緒の安定に関する事	315
16 情報共有・情報提供に関する事	1,096
17 安否確認(状況確認)に関する事	1,419
18 日常的な(生活技術)支援に関する事	95
19 地域支援に関する事	14
20 養育支援に関する事	1
21 避難計画に関する事	1
22 苦情に関する事	5
23 連絡調整に関する事	170
24 同行・代行支援に関する事	158
25 その他に関する事	586
27 障害差別及び合理的配慮に関する事	1
合計	5,979

v) その他の活動（支えあうまちづくり CSW の実績と共通）

□地域活動への参加・・・106回

- ・ミニデイサービス サロンへの参加：31回
- ・福祉協力員連絡会への参加：13回
- ・移動相談の実施：53回
- ・その他：9件

□研修会へ派遣（参加）：53回

□事例検討会（ケース会議含む）……67回

・ケース会議の開催 参加：66回

・要対協への参加：1回

□各種会議への参加……19回

・内部ミーティング：10回

・その他：9回

9. 母子父子福祉に関する事業

（1）親子教室、親子交流会（中止）

目 的 親子で参加できる教室や交流会を通して、親子のコミュニケーションの場、居場所づくり、当事者同士の交流と情報交換が図れる場づくりを目的として開催する。

10. 民生委員・児童委員活動の支援

目 的 民生委員・児童委員との更なる連携強化により、小地域福祉ネットワーク推進事業や支えあうまちづくり事業の展開をととした地域福祉の推進を図る。

県外研修への派遣

全国民生委員児童委員大会（京都大会）への派遣 ⇒ 参加人数制限のため派遣なし



1 1. 介護保険事業の実施

目 的 介護（要支援以上）を必要とする利用者に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助サービスを提供することで、利用者の在宅生活を支援することを目的とする。

①実利用者数 訪問介護 35 人 予防訪問介護 27 人

(令和 4 年 3 月末現在利用者数 訪問介護 21 人 予防訪問介護 15 人)

②提供時間数 訪問介護 2,303.75 時間 予防訪問介護 1,580.25 時間

③ 【 提 供 時 間 数 】

提供月	訪問介護員人数			利用者数			身体介護			身体生活			生活支援			合 計		
	常勤	登録	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計	介護	予防	計
4月	2	12	14	14	18	32	60	22	82	9	0	9	66	115.75	181.75	135	137.75	272.75
5月	2	12	14	14	18	32	52.5	21	73.5	9	0	9	76	116.75	192.75	137.5	137.75	275.25
6月	2	12	14	15	17	32	55.5	15	70.5	17	0	17	82	121.75	203.75	154.5	136.75	291.25
7月	2	12	14	17	18	35	67.5	15	82.5	43	0	43	79	127	206	189.5	142	331.5
8月	2	13	15	17	17	34	87	13	100	46	0	46	83	119	202	216	132	348
9月	2	13	15	16	17	33	88	13	101	43	0	43	70	115.5	185.5	201	128.5	329.5
10月	2	12	14	18	15	33	85	13	98	43	0	43	59	110.25	169.25	187	123.25	310.25
11月	2	13	15	15	16	31	80	13	93	47	0	47	45	113	158	172	126	298
12月	2	13	15	19	18	37	83.75	19	102.75	49	0	49	38.5	128.25	166.75	171.25	147.25	318.5
1月	2	13	15	22	17	39	101	15.5	116.5	42.5	0	42.5	58.5	107	165.5	202	122.5	324.5
2月	2	13	15	20	15	35	111	16.5	127.5	67	0	67	71.5	97.75	169.25	249.5	114.25	363.75
3月	2	12	14	21	16	37	134.5	28	162.5	52	0	52	102	104.25	206.25	288.5	132.25	420.75
累 計				208	202	410	1,005.75	204.0	1,209.75	467.50	0	467.50	830.50	1,376.25	2,206.75	2,303.75	1,580.25	3,884.0

【訪問介護】

【予防訪問介護】

身体介護	1,005.75 時間	204.0 時間
身体生活	467.5 時間	0 時間
生活支援	830.5 時間	1,376.25 時間
合 計	2,303.75 時間	1,580.25 時間

④定例ミーティングの開催

(毎月 1 回開催：9 回) ※3 回中止

内 容 利用者の状況確認、事務連絡、確認事項、情報交換

12. 支えあうまちづくり事業の実施

目 的： 全ての住民が地域で尊厳をもって豊かな暮らしを営めるよう、地域とともに専門職の積極的な関わり等によって福祉課題を把握し住民が主体となった助け合い・支え合い活動の展開及び、依頼者と提供者を結び有償による支え合いの仕組みで問題解決を図るため、「まちづくりサポートセンター」を設置してサービスを提供する。

(1) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

内容： ① コミュニティソーシャルワーカーの配置（7人）（地区担当制：障害者相談兼務）

※（本事業・町補助金：3人 障害者相談事業・町受託：3人 自己財源：1人）

②福祉マップづくりと見守り活動支援

③住民に対する福祉教育の推進

④その他、住民による地域福祉活動への支援

i) 相談延べ件数

訪 問	来 所	電 話	その他	合 計
561	74	866	138	1,639

ii) 相談者内訳

	合計
1. 高齢者	1,023
2. 母子・父子	73
3. 生活家族	13
4. 生活困窮世帯	434
5. 地域	3
6. その他	93
合計	1,639

iii) 相談支援内容

	合計
1. 介護に関すること	63
2. 家計・経済・税金に関すること	129
3. 金銭管理に関すること	7
4. 年金に関すること	12
5. 法律・福祉制度・サービスに関すること	208
6. 職業(就労)・生業に関すること	34
7. 住宅に関すること	71
8. 家族関係・人間関係に関すること	34
9. 家庭内暴力(虐待・DV)に関すること	4
10. 保育教育・学校生活に関すること	11
11. 医療・健康・衛生に関すること	216
12. 病状(障がい)の理解に関すること	7
13. アルコールに関すること	2
14. 不安の解消・情緒の安定に関すること	32
15. 情報共有・情報提供に関すること	309
16. 安否確認(状況確認)に関すること	1,201
17. 日常的な(生活技術)支援に関すること	28
18. 地域支援に関すること	15
19. 連絡調整に関すること	34
20. 同行・代行支援に関すること	45
21. その他に関すること	218
合計	2,680

iv) 実人数：228人

v) 見守りネットワークの整備

vi) 地域ケア会議への参加

vii) その他活動

※「障がい者相談支援事業 v) その他の活動」と共通

(2) まちづくりサポートセンターの設置

目 的：住民の相互扶助活動をととして地域の福祉課題の解決を図り、地域で安心して暮らすことのできる仕組みづくりを目的に実施する。

【活動実績】

①会員登録：依頼会員・・197 人、提供会員・・146 人、両方会員・・12 人（計 355 人）

②あっせん・・・154 件（実績：151 件、キャンセル・断り：3 件）

	活 動 内 容	件 数
1	庭の草木の伐採	63 件
2	掃除・片付け	35 件
3	買い物、調理	51 件
4	その他	2 件
合 計		151 件

(3) 小地域福祉ネットワークづくり推進事業の実施

目 的：援助を必要とする方々（単身高齢者や寝たきり老人、障害者等）が在宅のままで福祉制度を活用しながら、近隣住民の暖かい支えによって自立した生活が営めるよう、字（自治会）を単位とした福祉のネットワーク（近隣援助体制）づくりを進める。

①推進地区の指定及び助成金の交付（17ヶ所）

推進地区	助成額	推進地区	助成額
与那覇「うらしま」	134,500 円	津嘉山「ティガネーの会」	220,500 円
宮 城「はごろも会」	139,500 円	山 川「あみの会」	113,000 円
大 名「がじまる会」	76,000 円	神 里「ゆうなの会」	112,500 円
新 川「ひまわり会」	178,500 円	第2団地「さわやかなの会」	236,500 円
宮 平「なーでえらの会」	148,500 円	兼本ハイツ「フレンドの会」	119,000 円
兼 城「ゆいまーる会」	128,500 円	第1団地「でいごの会」	124,000 円
本 部「いじゅんの会」	113,000 円	北丘ハイツ「階の会」	109,500 円
喜屋武「がじまるの会」	130,500 円	兼 平「健寿会」	108,000 円
照 屋「ていーだの会」	125,500 円	合 計	2,317,500 円

②推進地区連絡会の開催

小地域福祉ネットワークづくり推進地区連絡会

日 時 令和3年9月14日（火）午後2時～

場 所 ちむぐる館 ホール

参加者 33 人

内 容

- ・今後のネットワーク活動について
- ・令和3年度 ネットワーク活動助成金の交付について
- ・一般高齢介護予防通所事業利用者交流会について
- ・その他

(4) 小地域福祉ネットワーク独自活動による高齢者サロン等の実施 (17ヶ所)

1) 活動実績

	サロン				その他									合計	
	回数	人数		計	見守り（友愛訪問）活動				他の活動						
		利用者	ボランティア		回数	人数		計	回数	人数		計			
						利用者	ボランティア			利用者	ボランティア				
1 与那覇	6	32	62	94	1	15	7	22	1	0	10	10	8	126	
2 宮城	0	0	0	0	4	76	20	96	0	0	0	0	4	96	
3 大名	2	33	6	39	2	2	2	4	2	0	5	5	6	48	
4 新川	0	0	0	0	4	148	20	168	1	0	0	0	5	168	
5 宮平	4	83	32	115	5		40	40	1	0	8	8	10	163	
6 兼城	0	0	0	0	3	23	41	64	0	0	0	0	3	64	
7 本部	6	63	32	95	2	10	9	19	3	0	15	15	11	129	
8 喜屋武	4	74	33	107	13	438	135	573	1	0	23	23	18	703	
9 照屋	14	153	47	200	2		16	16	1			0	17	216	
10 津嘉山	10	267	160	427	3	41	62	103	10	0	189	189	23	719	
11 山川	10	85	3	88	4	63	29	92	0	0	0	0	14	180	
12 神里	1	15	6	21	7	65	35	100	2			0	10	121	
13 第一団地	4	14	8	22	5		10	10	0	0	0	0	9	32	
14 第二団地	48	446	272	718	16	59	52	111	0	0	0	0	64	829	
15 兼本ハイツ	14	63	102	165	2			0	0	0	0	0	16	165	
16 北丘ハイツ	0	0	0	0	6	108	30	138	0	0	0	0	6	138	
17 兼平	15	30	118	148	0	0	0	0	0	0	0	0	15	148	
計	138	1,358	881	2,239	79	1,048	508	1,556	22	0	250	250	239	4,045	

2) その他の活動

- i) 一般高齢介護通所事業（ミニデイサービス）の協力
- ii) 見守り・友愛訪問（弁当・おやつ・野菜等 配布）
- iii) ボランティア定例会（利用者に関する情報共有）及び交流会・研修会 等
- iv) 公民館・集会所等の施設清掃ボランティア活動

13. 地域支え合い体制づくり事業

目 的 住民の主体的な地域福祉活動の推進をととして、それぞれの地域性にあった福祉活動の展開と住民の支えあい・たすけあいによる誰もが安心して暮らし続けることのできる福祉のまちづくりの推進を図ることを目的に実施する。

(1) 継続支援（宮平自治会・北丘ハイツ自治会・喜屋武自治会）

① “絆づくり” 事業・活動への助成…地域で実施が困難なため助成を中止

②福祉協力員活動への支援（再掲）

福祉協力員連絡会への参加・協力：13回

*福祉マップづくり

*気になる世帯の見守り体制づくり

*住民への福祉に関する学習機会の確保



福祉協力員連絡会（照屋 R3/8/25）

14. 日常生活自立支援事業・日常的金銭管理支援事業

目的 判断力の低下で日常生活を営むのに支障が生じている認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等に対し、安心して在宅生活が継続できるように福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理などの援助を行う。

内容 福祉サービス利用援助
日常的金銭管理の援助
書類などの預かり援助

※ 日常生活自立支援事業や他制度の利用につながるまでの一時的な支援として、日常的金銭管理支援事業を本会自主事業として行っている。

【利用者】 令和4年3月末現在

○日常生活自立支援事業

利用世帯 11世帯（新規契約：1世帯、解約：3世帯）

相談延べ件数：1,277件

内 容 事 項	本事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	0	0	0	0
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	0	1	2	2	5
c. 相談援助件数 (ab以外)	370	198	586	118	1,272
合 計	370	199	588	120	1,277

○日常的金銭管理支援事業（町社協独自事業）令和4年3月末現在

利用世帯 5世帯（解約：2世帯）

相談延べ件数：616件

訪問	来所	電話	その他(調整・会議等)	合計
102	14	477	23	616

○研修・会議等の参加

1. 地域福祉に関する研修会（令和3年4月16日「金」 参加者：2人）

内容：日本福祉の現状や課題について

2. 第1回成年後見制度利用促進法実務者会議（令和3年7月14日「水」 参加者4人）

内容：・成年後見制度の概要説明

・町の成年後見制度利用支援事業及び社協の日常生活自立支援事業の状況説明

3. 2021年成年後見人材育成研修 zoom オンライン併用聴講(令和3年8月27日参加者1人)

内容：・成年後見制度の解説

・家庭裁判所の実務の理解 ・財産法の基礎

4. 2021 年成年後見人材育成研修 zoom オンライン併用聴講
(令和3年8月28日「土」 参加者1人)
内容：・社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から
・成年後見活動における判断能力のとらえ方
・財産管理のための知識 ・後見事務の実際1
5. 日自専門員オンライン連絡会(zoom) (令和3年8月30日「月」 参加者3人)
内容：・日常生活自立支援事業をめぐる動向・課題と県社協の取り組み内容について
・グループ検討「日常生活自立支援事業における支援課題の共有と検討」
・意見交換「事業業務での困りごと・悩みごと」
6. 令和3年度日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅰ(オンデマンド)
(令和3年9月27日「月」 参加者2人)
内容：・権利擁護支援における日常生活自立支援事業の意義と期待される役割
・日常生活自立支援事業が地域で果たす役割と専門員への期待
・専門員に求められる基本姿勢、対人援助の基礎知識
・意思決定支援の基本的な考え方と実践
・判断能力と契約締結能力に関する基本的理解
・先輩専門員に学ぶ「権利擁護と専門員活動の実際」
・日常生活自立支援事業における相談援助活動
～精神障害者とのかかわりをとおして～
・事例検討の意義と進め方
7. 第2回成年後見制度利用促進法実務者会議(zoom)
(令和3年9月27日「月」 参加者4人)
内容：成年後見制度利用促進法における体制整備について
8. 日自専門員オンライン研修会(zoom) (令和3年10月6日「水」 参加者3人)
内容：・研修のねらいと援助者としての技術・倫理の基本的理解
・演習 日常生活自立支援事業 援助の流れの理解Ⅰ
9. 日自専門員オンライン研修会(zoom) (令和3年10月7日「木」 参加者3人)
内容：演習2 日常生活自立支援事業 援助の流れの理解Ⅱ
10. 2021 年成年後見人材育成研修 zoom オンライン併用聴講
(令和3年10月15日「金」 参加者1人)
内容：・家族法の基礎 ・身上監護のための知識 ・高検事務の実際2
11. 2021 年成年後見人材育成研修 zoom オンライン併用聴講
(令和3年10月16日「土」 参加者1人)
内容：・演習1(ニーズの把握と対応)
・演習2(ネットワーク活用による権利擁護、それぞれの立場での権利擁護実践)
12. 法テラス沖縄 地方協議会 (令和3年11月10日「水」 参加者2人)
内容：・法テラスの利用方法 ・その他相談窓口の紹介
・高齢者の消費者被害について
13. 第3回成年後見制度利用促進法実務者会議

(令和3年11月22日「月」 参加者4人)

内容：・事例検討～権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断～
・那覇家庭裁判所及び専門職団体との意見交換
・中核機関と協議会のイメージを話し合おう

14. 第4回成年後見制度利用促進法実務者会議

(令和4年1月28日「金」 参加者4人)

内容：・権利擁護に関する町の課題について
・中核機関のイメージを話し合おう
・積み残された課題の整理及びスケジュールの合意形成

15. 日常生活自立支援事業実践研究協議会 (令和4年2月3日「木」 参加者2人)

内容：・基調講演「社協が取り組む地域における総合的な権利擁護体制について」
・実践報告1「コミュニティソーシャルワーカーと連携した日常生活自立支援事業の展開と課題」
・実践報告2「日常生活自立支援事業と法人後見事業の取り組みと課題」
・問題提起「本件における日常生活自立支援事業の課題」
・グループ討議「日常生活自立支援事業の今後の展開を考える」

16. 第5回成年後見制度利用促進法実務者会議

(令和4年2月21日「月」 参加者4人)

内容：個別事例検討～権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断～

17. 成年後見制度利用促進法代表者会議 (令和4年3月14日「月」 参加者3人)

内容：・成年後見制度利用促進計画の概要と市町村が行う事業について
・権利擁護に関する町の状況及び課題の報告
・方向性及びスケジュールの説明

18. 講演会 (令和4年3月16日「水」 参加者2人)

内容：安心して暮らすために成年後見制度について考える

15. 社協会員加入推進

目 的 自主財源の安定的な確保と会員制度をととした住民参加の促進を目的に実施する。

(1) 社協会員加入促進事業所まわりの実施

日 時：令和3年7月28日（水）午後1時～午後4時

参加者：役員、民生委員、職員等 33人

内 容：特別会員加入依頼（町内外事業所）

(2) 加入実績

種 別	件 数	実 績
戸別会員	4, 158世帯	2, 079, 000円
賛助会員	124件	143, 000円
団体会員	34団体	340, 000円
特別会員	個人 78人（103口） 事業所 269件（414口）	2, 585, 000円
合 計		5, 147, 000円

16. 調査研究並びに福祉対策

(1) 低所得世帯の調査

目 的 歳末たすけあい激励金配分対象者把握のため生活困窮世帯の調査を行う。
 実施期間 令和3年11月1日～11月30日
 調 査 員 民生委員・児童委員、相談員、CSW、在介、こども課（相談員）
 調査対象 200世帯（内歳末たすけあい激励金配分：153世帯）

(2) 企画・広報委員会、総務・財政委員会の開催

ア. 企画広報委員会

第1回

日 時 令和3年12月10日（金）午後2時～
 場 所 ちむぐくる館 会議室3
 出 席 5人
 内 容 ・令和3年度上半期事業評価について ・質疑応答、意見交換

イ. 総務財政委員会

第1回

日 時 令和3年12月13日（月）午後5時～
 場 所 ちむぐくる館 会議室3
 出 席 7人
 内 容 ・令和3年度上半期事業評価について ・質疑応答・意見交換

17. 香典返し・寄附

(1) (香典返し) 16件 1,550,000円

(2) (一般寄附) 28件 1,942,123円

日 付	氏 名	住 所	金 額	備 考
4/2	匿名希望 様	字山川	30,000 円	寄附
4/8	匿名希望 様	字新川	10,000 円	寄附
4/12	(株)技建 代表取締役社長 津波古健二 様	南城市	300,000 円	寄附
4/19	沖縄子育て良品(株) 代表取締役 船谷香様	字宮平	20,000 円	元気マルシェ出店業者からの出店料より一部寄附
5/7	琉球古典音楽野村流音楽 協会那覇支部 様	—	4,000 円	寄附
5/19	匿名希望 様	字宮城	13,000 円	子ども食堂で使用希望
6/10	南風原町商工会青年部 部長 上江洲俊介様	字本部	100,000 円	地域福祉に役立ててほしい
6/17	当真博史様	字宮平	50,000 円	寄附
6/28	(株)大橋自動車販売代 表取締役 田場士朗様	字宮平	250,000 円	創業40周年を記念して
7/14	(株)近代美術社会貢献社内 プロジェクト募金チーム リーダー比嘉崇様	字兼城	9,900 円	子ども食堂で使用希望

7/28	(有)三栄技研 代表取締役 安次富幸常様	字神里	12,588 円	寄附
10/5	與那嶺幸恵様	字宮平	10,000 円	寄附
10/15	新垣正雄様	字与那覇	10,000 円	寄附
11/15	匿名希望 様	字兼城	5,000 円	寄附
12/1	沖縄印刷団地協同組合 理事長 宮城剛 様	字兼城	500,000 円	組合設立 50 周年を記念して
12/8	南風原町商工会会員事業者 103 者 代表南風原町 商工会会長 金城宏孝様	字本部	100,000 円	コロナ禍対策支援「ちむぐるチャ リティー」 寄附金
12/20	壺やきいも専門店くり太 郎 代表来間光博様	字津嘉山	5,000 円	壺やきいも専門店くり太郎一周年を 記念して
12/23	I. Y u k i k o 様	字本部	10,000 円	寄附
1/7	匿名希望様	字本部	13,245 円	寄附
1/28	高良優希 様	字兼城	10,000 円	寄附
2/1	宗教法人浄開院寺 池原尚龍様	浦添市	20,000 円	寄附
2/16	桃原善之 様	字照屋	15,000 円	寄附
2/24	社会福祉法人さんご福祉 会さんご保育園 園長石 川元則様	字本部	9,190 円	寄附
2/28	南風原センター通り会 会長 城間義勝様	字兼城	50,000 円	子どものために使用希望
3/3	メンズナースOKINA WA 代表 諸見里啓様	—	5,200 円	子どもの居場所のため使用希望
3/16	匿名希望様	字宮城	30,000 円	子ども食堂で使用希望
3/25	沖縄県医師会理事及びス タッフご有志様	字新川	50,000 円	子ども食堂で使用希望
3/31	沖縄セルラー電話 (株) 代表取締役社長 菅隆志様	那覇市松山	300,000 円	(沖縄セルラー子ども基金)子供の支援 で使用希望

18. 物品の寄贈及び配分

令和3年4月～令和4年3月

- 品 名 野菜（レタス、ねぎ、とうがん など）随時
寄贈者 与古田征男 様 仲里利信 様 他
配分先 見守り支援世帯、高齢者世帯等

令和3年4月～令和4年3月

- 品 名 お米（13回にわたり寄贈 合計 207 kg）、じゃがいも 15 kg
寄贈者 神里広・シゲ子様
配分先 生活困窮世帯 等

令和3年4月～令和4年3月

- 品 名 卵（2,408個）
寄贈者 美ら卵養鶏場（社長 諸見里元様）
配分先 生活困窮世帯、生活福祉資金貸付相談者 等



令和3年4月～令和4年3月

➤品 名 パン
寄贈者 アデモック南風原店 様
配分先 子ども食堂

4月

➤品 名 成人用おむつ (Mサイズ1箱)
寄贈者 宮城勇人 様 配分先 支援世帯 等

➤品 名 成人用おむつ(Mサイズ10袋、パット7袋)
寄贈者 匿名希望 様 配分先 支援世帯 等

5月

➤品 名 成人用おむつ(2袋、パット1袋)
寄贈者 匿名希望 様 配分先 支援世帯 等

➤品 名 かぼちゃ 約40kg
寄贈者 神里宏・洋子 様 配分先 生活困窮世帯 等

6月

➤品 名 3,000円分の物資を寄贈
寄贈者 匿名希望 様 配分先 生活困窮世帯 等

➤品 名 抗菌用マスクケース2,000枚
寄贈者 アイドマ印刷 様 配分先 高齢者支援世帯 等

7月

➤品 名 お菓子 23箱 (7/5)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 子ども食堂、町内の子育て世帯、町母子寡婦福祉会会員
町内児童福祉施設 (17か所)

➤品 名 お菓子 20箱 (7/19)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 子ども食堂 町内認可外保育園 (16か所)

➤品 名 レトルトパウチご飯 12個、お米1袋
寄贈者 (株)近代美術社会貢献募金チーム 様
配分先 支援世帯 等

➤品 名 NEWヤクルト300本
寄贈者 沖縄ヤクルト (株) 様
配分先 高齢者世帯、元気ルームカナカナ、子育て世帯 等



8月

- 品 名 お菓子 18箱 (8/19)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 子ども食堂 町内認可保育園 育成福祉会 (17 か所)
- 品 名 おむつ、尿取りパット 8袋
寄贈者 篠原久美子 様
配分先 高齢者支援世帯 等
- 品 名 シャンプー20本、トリートメント66本
寄贈者 (有) トピーコーポレーション 様
配分先 生活困窮世帯 等
- 品 名 ヤクルト (カロリーハーフ) 1,000本
寄贈者 沖縄ヤクルト (株) 様
配分先 町内学童クラブ、子ども食堂児童生徒 等
- 品 名 防犯ブザー 100個
寄贈者 与那原地区防犯協会、与那原警察署 様
配分先 子ども食堂児童生徒、町母子寡婦福祉会、支援世帯 等



9月

- 品 名 お菓子 18箱 (9/15)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 子ども食堂 町内認可保育園 育成福祉会 (17 か所)
- 品 名 おむつ2袋、尿取りパット2袋、リハビリパンツ1袋
寄贈者 津波古 様
配分先 支援世帯 等

- 品 名 レトルトパウチごはん720食
寄贈者 おきなわ米販 (株) (代表取締役末吉俊明 様)
配分先 コロナ感染世帯、支援世帯、生活困窮世帯 等



10月

- 品 名 お菓子 18箱 (10/20)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 子ども食堂、町内認可外保育園 (16 か所)
- 品 名 子ども用おむつ4袋
寄贈者 匿名希望様
配分先 支援世帯 等
- 品 名 食料品 162品
寄贈者 イオン琉球(株)南風原店 様 フードドライブ
配分先 コロナ感染世帯 生活困窮世帯

➤品 名 食料品（毎月1回）
寄贈者 (株)丸大 様 フードドライブ 配分先 コロナ感染世帯 生活困窮世帯

➤品 名 食料品
寄贈者 南星中学校ボランティア委員会 様 フードドライブ
配分先 コロナ感染世帯 生活困窮世帯

11月

➤品 名 お菓子 18箱（11/11）
寄贈者 ダイワコーポレーション 様 配分先 か・ボッチャ大会（児童福祉施設）

12月～令和4年3月

➤品 名 ゴーヤー インゲン
寄贈者 マイファーム 様 配分先 見守り世帯

12月

➤品 名 お菓子 18箱（12/1）
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 認可外保育園8、地域型保育施設5、認定こども園1
島添の丘3 子ども食堂1

➤品 名 お米 1kg×32袋
寄贈者 大城逸子 様
配分先 生活困窮世帯、子育てひとり親世帯、多子世帯等

➤品 名 缶詰19個、乾物3個、レトルト食品22個、
調味料2個
寄贈者 丸大南風原店 様 配分先 生活困窮世帯 等

➤品 名 お米90kg（3kg×30袋）
寄贈者 石川清朝 様
配分先 生活困窮世帯、子育てひとり親世帯、多子世帯 等

➤品 名 お菓子
寄贈者 明治 様 配分先 町内児童デイサービス等施設（14か所）

➤品 名 クリスマスケーキ（70個）
寄贈者 株式会社 アサヒプラント（社長 中本 宏 様）
配分先 町内保育園（16か所）、児童館（4館）、子育てサロン

➤品 名 手作りみそ（250個）、黒糖（非常食用）24個×5箱
寄贈者 沖縄県農業協同組合 南風原支店 様
配分先 歳末助け合い配分世帯、他



➤品 名 食料品
寄贈者 沖縄県労働金庫与那原支店 様 配分先 コロナ感染世帯

12月・令和4年1月

➤品 名 お肉
寄贈者 (株)日新電器産業 様 配分先 子ども食堂

12月・令和4年2月

➤品 名 パン
寄贈者 ループパン屋 様 配分先 見守り世帯

令和4年1月

➤品 名 お菓子 9箱 (12/27)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 認可園1、子ども食堂2、母子会1、観光協会3

➤品 名 ランドセル (2個)
寄贈者 匿名希望 様 配分先 支援世帯 等

➤品 名 お米 (5kg×14袋)、缶詰232個
ラーメン、レトルト食品、ドレッシング
お菓子 等
寄贈者 南風原町職員労働組合の皆様
配分先 コロナ感染世帯、支援世帯、生活困窮世帯等



➤品 名 レトルト食品(カレー)30個、レトルトパウチごはん25個
寄贈者 久田病院 様 配分先 支援世帯、生活困窮世帯 等

2月

➤品 名 お菓子 18箱 (1/31)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 町内認可保育園15園、認可外1園、こども食堂2

➤品 名 食料品 段ボール14箱分
寄贈者 カーブスマックスバリュー日橋 様 フードドライブ
配分先 コロナ感染世帯

➤品 名 お菓子 18箱 (3/10)
寄贈者 ダイワコーポレーション 様
配分先 児童サービス14、子ども食堂2、母子会2

3月

➤品 名 物品各5万円分

お米、生理用品、消毒液、観光土産品（お菓子、レトルト食品、沖縄そば
カップ麺、もずくスープ等）

寄贈者 公益社団法人 那覇法人会 様

配分先 コロナ感染世帯、支援世帯、生活困窮世帯等

➤品 名 お米（3kg×85袋）

寄贈者 仲里利信 様

配分先 支援世帯、生活困窮世帯、等

➤品 名 お米（3kg×100袋）

寄贈者 沖縄食糧（株）様

配分先 子ども食堂で使用 等

令和3年度国産農林水産物等販売新規開拓緊急対策事業（子ども食堂等への食材
提供）に対する物品寄贈



➤品 名 ヤクルト 400本

寄贈者 沖縄ヤクルト(株) 様

配分先 子ども食堂 見守り世帯

➤品 名 お米（5kg×8袋）

寄贈者 ひびきサロンまる 様

配分先 子ども食堂

19. 役職員の研修等

目 的 役職員が福祉の専門職として専門性を高めるため、各種研修会へ参加・派遣し、また職員研修会を通してその知識を共有し共通認識を図る。

(1) 県外研修への派遣

※ 派遣なし

(2) 県内研修会等への参加（WEB研修含む）

1. 地域福祉コーディネーター基礎研修会-第1弾（ZOOM）

日 時：令和3年8月18日（水）午後3時～午後4時30分

内 容：講話：「話し合い」の場の持ち方と進め方

～地域の困りごと・ニーズを共有し、解決の働きをつくりだす～

講師：NPO法人まちなか研究所わくわく事務局長 宮道喜一氏

参加者：11人

2. 第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道 (ZOOM)

期 日：令和3年10月22日(金)・23日(土)

内 容：コロナ禍における小地域福祉活動

22日(金) 13:00～16:30

講演：「コロナ禍における小地域福祉活動」

講 師：北海道津別町社会福祉協議会長・津別町議会議員 山田英孝氏

分科会1「コロナ禍でのサロン活動の苦難と工夫」

分科会2「こども食堂から小地域福祉活動への展開と実際」

23日(土) 13:30～16:30

分科会3「小地域福祉活動を“福祉”×“教育”から実現する」

分科会4「地域住民が主体となる小地域福祉活動や生活支援の仕掛け、工夫」

参加者：12人

3. 地域における公益的な取り組み実践セミナー (ZOOM)

日 時：令和3年11月15日(月) 午後2時～4時30分

内 容：①事業説明：「地域における公益的な取り組み実施状況について」

説 明：沖縄県社会福祉協議会地域福祉部長 久根次薫氏

②実践報告：「西原町社会福祉法人等連絡会の取り組みについて」

報告者：西原町社会福祉協議会事業係 主任 比嘉若菜氏

小橋川福祉会 西原保育園 園長 田仲雄二氏

助言者：兵庫県社会福祉法人経営者協議会長 谷村誠氏

③講 話：「With コロナにおける社会福祉法事による地域貢献活動及び
ネットワーク活動実践の推進に向けて」

講 師：兵庫県社会福祉法人経営者協議会長 谷村誠氏

参加者：5人

4. 市町村社協法人経営・組織基盤強化推進セミナー

日 時：令和3年11月26日(金) 午後1時30分～4時

内 容：①講話：「社会福祉法人における経営計画の策定・実践の重要性」

講 師：當間 克雄 氏 (兵庫県立大学大学院 教授)

参加者：2名

5. 九州ブロック地域福祉研究会議 (佐賀大会：オンライン開催)

日 時：令和4年1月13日(木)・14日(金)

場 所：ちむぐくる館 会議室3及び社協内事務所

内 容：第1分科会 14日(金) 午前9時～正午 (ZOOM) 参加：5名

「地域共生社会の実現を目指したコミュニティソーシャルワークの実践」

第2分科会 13日(木) 午後1時～午後4時 (ZOOM) 参加：2名

「地域における社会福祉法人連携の中核としての社協活動の実践」

第3分科会 13日(木) 午後1時～午後4時 (ZOOM) 参加：4名

「学校・地域・家庭がつながる福祉教育の実践」

第4分科会 14日（金）午前9時～正午（ZOOM） 参加：4名
「社協が担う権利擁護支援の実践」

（3）職場内研修会の実施

新入職員研修会

日 時 令和3年4月15日（木）午前9時10分～午後4時
場 所 ちむぐる館 会議室3
講 師 会長 職員8人
内 容 社協事業の説明
参 加 新入職員11人

職員研修会

日 時 令和3年11月21日（日）午前10時～正午
場 所 与那覇コミュニティセンター ホール
講 師 石川健氏（八重瀬町社会福祉協議会事務局長）
内 容 講話「社会福祉協議会職員に期待すること」～先輩からのメッセージ～
参 加 46人（正副会長2人、社協職員44人）



職員研修会（R03/11/21）

役職員等研修会（南部地区社会福祉協議会連絡協議会研修会との合同研修会）ZOOM・Youtube

日 時 令和4年1月14日（金）午後1時30分～午後4時30分
場 所 ちむぐる館 ホール
講 師 上地 武昭氏（おきなわ地域福祉研究会）
内 容 実践報告①

「支え合い委員会を中心としたコロナ禍の活動について」 八重瀬町社協職員
実践報告②

「コロナ禍で見た課題から社協と行政でできた取り組み」 豊見城市社協職員
参 加 役職員等（役員・評議員・常設委員・総務財政委員・企画広報委員・ボランティア運営委員） 35人

20. 苦情解決事業

社協が提供する福祉サービスに関する苦情に対し、適切な対応を行うことで早期解決を進め利用者の満足度を高めるとともに、受付担当者や解決責任者を配置し、さらに客観性を確保するため第三者委員を配置して苦情解決体制を整えます。

- ① 苦情受付担当者の配置 ② 苦情解決責任者の配置
- ③ 第三者委員の配置（2名） ④ 第三者委員情報交換会の開催 ※開催なし
- ⑤ 意見箱の設置

21. 実習生の受け入れ

社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士）の受入

沖縄大学 学生 受入人数 2人

受入期間 令和3年8月3日～9月15日 うち24日間



(実習の様子)



(実習成果報告会の様子)

22. 各種福祉団体への支援

(1) 福祉団体への助成金の交付

助成団体	助成額	助成団体	助成額
町老人クラブ連合会	200,000 円	町身体障害者福祉会	100,000 円
町民生委員児童委員連合会	120,000 円	町更生保護女性会	100,000 円
町手をつなぐ育成会	100,000 円	町母子寡婦福祉会	50,000 円
音訳サークル「たんぽぽ」	30,000 円	手話サークル「こがねもり」	30,000 円
町赤十字奉仕団	50,000 円		

(2) 福祉団体の事務局

団 体 名
町老人クラブ連合会
町民生委員児童委員連合会
町身体障害者福祉会
町母子寡婦福祉会
町介護者の会「にじの会」
音訳サークル「たんぽぽ」

23. マイクロバスの貸し出し

- ・高齢者健康づくり推進事業使用（月・水・金曜日）
- ・自治会、福祉団体等に貸出を行う。

（1）マイクロバスの利用状況（令和3年4月～令和4年3月）

使用団体

- ・小地域福祉ネットワーク 4回
 - ・各字・自治会 1回
 - ・保育園 1回
 - ・町内福祉団体 3回
- 合計 9回

24. 福祉活動資金造成チャリティー芸能公演の開催

（1）第34回社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演の開催（延期）

（2）第34回 社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演実行委員会の開催

実行委員会

日 時 令和4年1月6日（木）午後5時～5時30分

場 所 ちむぐくる館 ホール

内 容 第34回社協福祉活動資金造成チャリティー芸能公演について

出席者 町文化協会、他 計10人

※ 新型コロナウイルス感染症拡大により、1月末で公演延期を判断

25. 共同募金運動の実施協力

目 的 子どもから高齢者まで障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる福祉コミュニティの構築のためボランティア団体の支援及び社協事業、福祉施設等の支援をすることにより福祉コミュニティの実現をめざす。

（1）共同募金会町委員会の開催

第1回

日 時 令和3年6月3日（木）

場 所 ちむぐくる館 ホール

出席者 委員9人（監事2人）

- 内 容
- ① 令和2年度事業報告について
 - ② 令和2年度決算報告について
 - ③ 令和3年度共同募金実施計画について
 - ④ 令和3年度資金収支予算について

第2回（決議の省略）

決議の省略があったものとみなされた日：令和3年9月28日（火）

- 内 容
- ① 運営委員の選任について
 - ② 監事の選任について
 - ③ 会長、副会長の選任について

(2) 赤い羽根伝達式及び事業所募金の実施

目 的 共同募金運動が円滑に展開されるように、ミスかすりより代表奉仕協力者へ赤い羽根の伝達式を行い、併せて激励してもらうことにより、奉仕者の意欲と運動の機運を盛り上げる。

第1回

日 時 令和3年10月15日（金）午後1時30分 運動員 54人
内 容 ① 事業所募金実施要領説明 ② 事業所まわり

第2回

日 時 令和3年10月27日（水）午後1時30分 運動員 44人
内 容 ① 事業所募金実施要領説明 ② 事業所まわり

(3) 店頭募金活動の実施

第1回 日 時 令和3年10月17日（日）午後1時～5時

場 所 ・サンエーつかざんシティ店（南星中学校12人） 114,971円
・かねひで南風原市場（音訳サークルたんぽぽ6人） 26,850円



第2回 日 時 令和3年10月24日（日）午後1時～5時

場 所 ・サンエーつかざんシティ店（南風原中8人） 76,982円
・かねひで南風原市場（更生保護女性会7人） 26,823円

第3回 日 時 令和3年10月31日（日）午後1時～5時

場 所 ・サンエーつかざんシティ店（職員13人） 76,215円

(4) 赤い羽根共同募金運動の目標と実績

種 別	目標額	実 績 額	達成率
戸別募金	1,891,000円	2,061,500円(4,123件)	109.0%
職域募金	870,000円	921,008円 (57件)	114.6%
事業所募金	2,200,000円	2,266,445円 (468件)	106.8%
学校募金	280,000円	320,659円 (6校)	114.5%
店頭募金	296,000円	321,841円 (5回)	108.7%
県共募取り扱い団体 及び職域募金配分	0	183,342円 (6件)	
その他	0	477,626円 (38件)	
合 計	5,537,000円	6,552,421円	118.3%

(5) 歳末たすけあい運動の実施（令和3年12月1日～31日）

目 的 新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、町民をはじめ民生委員児童委員、区長・自治会長の協力を得て、援助活動を推進する。

目標額 1,900,000 円 実績 1,797,281 円 達成率 94.6%

〔 実 績 〕

種 別	金 額	備 考
戸別募金	839,301 円	4,198 世帯
職域募金	542,195 円	33 件
事業所	20,000 円	2 件
イベント募金	0 円	チャリティークリスマス
その他	395,785 円	13 件
小 計	1,797,281 円	
前年度繰越金	320,602 円	
合 計	2,117,883 円	次年度繰越
配分額	1,365,870 円	752,013 円

〔配分内訳〕

配分状況		世帯数	人数	金 額
激励金の配分先	知的障害者世帯	2 件	4 人	16,000 円
	身体障害者世帯	3 件	9 人	27,000 円
	精神障害者世帯	1 件	3 人	9,000 円
	ひとり暮らし老人	1 2 件	1 2 人	84,000 円
	長期療養世帯	7 件	1 8 人	60,000 円
	困窮世帯	8 4 件	2 4 5 人	749,000 円
	母子世帯	4 0 件	1 2 0 人	360,000 円
	父子世帯	4 件	1 3 人	37,000 円
	おせち弁当配布	2 1 件	2 1 人	23,870 円
計		1 7 4 件	4 4 5 人	1,365,870 円

(6) 第12回 共同募金チャリティークリスマスコンサートの開催（中止）

目 的 新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、チャリティーコンサートをとおして援助活動を推進する。

(7) 災害たすけあい募金の実施

1. 令和3年7月豪雨災害義援金

取組期間 令和3年7月～令和3年9月30日

種 別	金 額
合 計	35,532 円

2. 令和3年8月7日大雨災害義援金

取組期間 令和3年8月～令和3年9月30日

種 別	金 額
合 計	35,532 円

※ 上記の1及び2の義援金は、同時に取り組んだため、集まった義援金を折半しています。

(8) 自動販売機の設置（4機）

設置場所：高架橋下、宮城公園、神里ふれあい公園、はえるん公園

収 益 金：194,191 円



26. 新聞切り抜き (R2. 4. 1. ～R3. 3. 31 (ｼﾞｰ ～ ｼﾞｰ))
